

北海道地区自然災害科学資料センター活動報告概要

(平成 29 年度)

(1) 一般活動（地区幹事会・センター運営委員会）

第 1 回幹事会：平成 29 年 8 月 29 日（月）15：30～17：00 参加人数：11 名

1. 幹事の交代について

飯場センター長より、幹事交代について説明があり、以下の通り承認された。

・田村亨教授の後任委員について

田村亨委員の北海道大学ご退職に伴い、後任として北海道大学工学研究院北方圏環境政策工学部門の萩原亨教授が推薦され、平成 29 年 8 月 29 日より委員に就任することが承認された。

2. 自然災害研究協議会報告

山下部会長より、4 月 17 日（月）に開催された、平成 29 年度第 1 回京都大学防災研究所自然災害研究協議会について報告された。

✧ 協議会の H28 年度の活動報告

- ・シンポジウムの開催（H28. 9. 22-23）
- ・国際展開調査
- ・突発災害（2016 年熊本地震と関連する活動に関する総合調査）

✧ 協議会 H29 年度の主な活動計画

- ・シンポジウムの開催（H29. 9. 14）
- ・突発災害調査の実施（那須雪崩災害）
- ・国際展開調査
- ・人材 DB の充実 協議会でチームを作り充実させる

✧ H29 年度の北海道地区の

✧ 予算について

北海道地区の予算 68 万円

100 万円程の予算を請求し、活動計画を立てていたが、北海道の H29 年度の予算は昨年度と同程度の 68 万円となった。

3. 平成 28 年度決算報告

✧ 一般運営財源（研究経費）

収入：2,386,059 円（繰越分を含む）、

支出：1,120,539 円、翌年度への繰越額：1,265,520 円

✧ 寄附金

収入：440,793 円、支出：0 円、翌年度への繰越額：440,793 円

4. 平成29年度予算案

飯場センター長より資料に基づき説明があり、承認された。

✧ 一般運営財源（研究経費）

・収入：2,450,520 円

（H29 年度予算：1,185,000 円、H28 年度繰越分：1,265,520 円）、

・支出：1,185,000 円

（消耗品：79,800 円、電話料金：40,000 円、人件費：950,000 円、

スペースチャージ：25,200 円、書架：90,000 円）

✧ 寄附金

・収入：440,793 円

・支出：支出の予定なし

5. ホームページの公開と今後の運営管理について

前部会長の岡田先生より、HP 公開について説明された。

・かつて利用していた北大のサーバーが利用できなくなってしまったため、レンタルサーバーを利用することとなった。

・HP 公開に関する費用は、協議会の財源を使用する。（3 万円前後）

・レンタルサーバーは、協議会とも取引があるさくらインターネットを利用する。

・HP の更新については、ホームページビルダーを利用し、事務員（野田）が更新する。

・初期設定については、中嶋先生にお願いする。

・更新時期は報告書発行後（4 月）の他、フォーラムや特別講演会等のお知らせがある時。

6. 平成29年度地区フォーラムのテーマについて

✧ 本年度の開催地について検討した。

岡田先生より、北海道災害・減災リレーシンポジウム（主催：北大突発災害防災・減災共同プロジェクト拠点）や、北海道防災教育アドバイザー講演会と共催する方法もあるという意見があった。

釧路市で開催のくしろ安心住まいフェアの中で、市民とふれあう体験コーナーとして釧路防災屋台村が開催されているという情報もいただいた。

後日、メールで情報を収集することとなった。

✧ 昨年度の地区フォーラム開催（北見工業大学）について、早川委員に代わり飯場センター長より報告された。

7. センター業務報告

飯場センター長より資料に基づき報告された。

8. センター報告31号寄稿者候補と目次案について

・飯場センター長より、センター報告31号「報文・資料」の原稿募集について、各委員の皆様にも寄稿者選出にご協力いただきたいとの依頼があった。

- ・岡田成幸特任教授（北海道大学大学院工学研究院）と茂木透特任教授（北海道大学大学院工学研究院）に、昨年度の特別講演の内容をまとめてご執筆いただけるよう依頼する予定である。
- ・昨年度の地区フォーラム報告書のご執筆を早川博教授（北見工業大学）に依頼済み。
- ・会員・協力員に向けてもメールで原稿の募集を行う。

9. 総会特別講演者候補について

特別講演会の講演者について検討された。

今年度は、北海道大学工学研究院社会工学系の該当者は無し。

昨年度の該当者であった船水尚行先生（北海道大学大学院工学研究院）、高橋正宏先生（北海道大学大学院工学研究院）の名前があがった。

後日、委員にメールを送信し、該当者についての情報を収集することとなった。

10. 自然災害研究協議会北海道地区部会会員の名簿管理について

岡田先生のご提案により、部会員・協力員の名簿を、委員で共有することとなった。

後日、メールにて名簿（パスワードをかけて）をお送りする。

第2回幹事会：平成29年12月5日（火）15：00～17：00 参加人数：11名

1. 自然災害研究協議会報告

山下部会長より、9月14日（木）に開催された、平成29年度第2回京都大学防災研究所自然災害研究協議会について報告された。

- (1) 協議会の活動として、「第54回自然災害科学総合シンポジウム」(9/14（木）京都大学氏キャンパスにて開催済)と、「河川シンポジウム」(3/5（月）岡山大学)の二つのシンポジウムを開催。
- (2) 突発災害の調査
 - ・那須雪崩災害
 - ・平成29年7月九州北部豪雨災害に関する総合的研究
- (3) SAIGAI データベースの充実→具体的戦略を検討中。
- (4) 人材データベースの充実
- (5) 国際展開調査

世界防災研究所連合との連携→京都大学を中心に進んでいる。

 - ・H30年度共同研究募集のお知らせ→突発災害調査費100万円、11/24現在応募なし。

2. 平成29年度予算中間報告

資料（11/16現在）に基づき野田より報告。

- ・平成28年度繰越分：1,185,000円
- ・平成29年度予算：1,265,520円
- ・予算執行額：442,778円（電話料金18,232円、人件費424,546円）
- ・予算残額：2,007,742円

3. センター報告31号の募集について

- ・山下先生より水系で1つの報告
- ・石川達也先生（幹事会後、渡部先生の依頼により、石川先生の快諾の連絡あり。）
- ・飯場先生 2011年東北地方太平洋沖地震における千葉県の液状化地盤の観測記録（国土交通省の国総研の観測記録）などの整理

今後、会員・協力員へはセンター報告を冊子としてではなくダウンロードで提供することを検討することとなった。今年度は全員冊子をお送りする。

また、前もって年度毎の企画者を決め、企画を立てて発行することなどの意見があり、検討することとなった。

4. 平成29年度地区フォーラムについて

岡田先生より、農学部丸谷先生、小山内先生、林先生等が中心となって開催する突発災害のフォーラムがあるので、共催できないかとの提案があり、農学部の鮫島先生が打診して下さることとなった。

5. 総会特別講演会講演者候補について

候補者の中から、今回は、村上亮先生（理学研究院）、田村亨先生（北海商科大学）に依頼することとした。

総会の日程は、村上先生と田村先生のご予定を優先し決定する。

6. センター業務報告

配布資料に基づき野田事務員より報告。

- ・北海道地区部会のメンバー 部会員 96名、協力員 44名 合計 140名
- ・資料の受入 17部
- ・資料の貸し出し 1名
- ・センター報告1号から30号までのすべてのデータ提供を依頼され、HPからのダウンロードをお願いした。（工学研究院 石川達也教授）

非公開の論文についてはPDFでお渡ししたが、今後は冊子を提供する。

- ・WEBサイトの公開は、本部の予算が科研費のため年度途中の契約ができないということになり、来年度4月からの公開になった。本部の予算を使用することが難しい場合は、北大の予算（一般運営財源）を使用することを検討してはどうかとの提案が飯場センター長よりあった。

7. その他

- ・名簿の更新について

センター報告31号送付時に受領書を入れ、現住所等を確認する。

(2) 地区フォーラム

「2017 防災フォーラム・札幌 地盤の液状化による被害と被害軽減対策」

日時：平成30年2月19日（月）14:00～16:00（13:30 受付開始）

場所：北海道大学工学部 A1-01 会議室

【プログラム】

1. 中井正一先生（千葉大学名誉教授）
「東日本大震災における千葉県での液状化被害とその対策」
2. 八木一善様（岩田地崎建設・技術部次長）
「北海道における地盤液状化と火山灰質地盤の被害の特徴」

（3）出版活動

北海道地区自然災害科学資料センター報告 vol. 31 号の刊行（2018 年 3 月）

（4）地区総会

開催日時：平成 30 年 2 月 22 日（木）15:00～16:00

開催場所：北海道大学大学院工学研究院 A101 会議室

◇特別講演会◇

- ・田村 亨 先生（北海商科大学）
「ゲリラ豪雪への適応策とその課題 一道路と空港の事例一」
予定時間 16:00～16:50

- ・村上 亮 先生（北海道大学大学院理学研究院）
「原子力発電所の火山対策に関する雑感」
予定時間 17:00～17:50